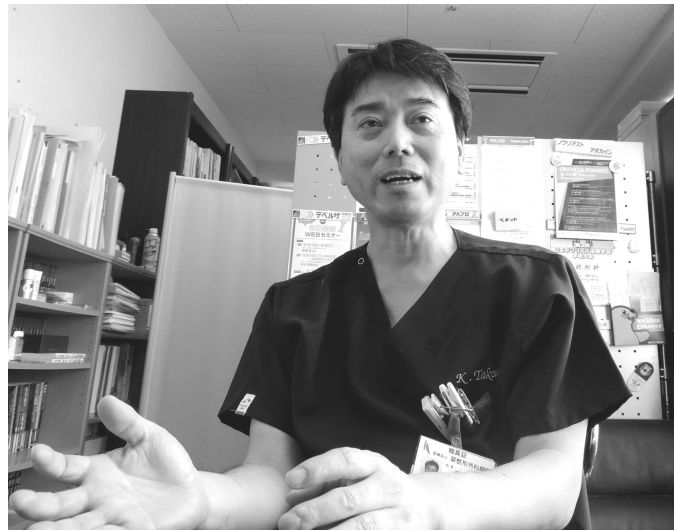


地域に根差し、特色のある医療を

医療法人社団 栗整形外科病院
武内 啓 理事長

栗整形外科病院は、リウマチ専門医として地域の医療に貢献するとともに、グループ内に多くの施設を備えている。



■体外衝撃波治療法

体外衝撃波疼痛治療とは、衝撃波を患部に照射する低侵襲な治療法で、主に難治性の足底腱膜炎治療などに用いられます。

この治療法は患者さんにメスを入れることなく治療できるというメリットがあります。昨年の2月にその治療装置「ドルニエ」を購入しました。まだ全国的にも珍しい機械で、四国で設置しているのは当院だけなんです。

機械を導入したことで、県外や松山市などからスポーツをしている若い患者さんが多く来るようになりました。患者さんの中にはアジア大会の陸上競技で銅メダルをとるようなトップアスリートも含まれます。アスリートの治療は、ただ治すということ以上にパフォーマンスを下げないようにし

なければならず、とても気を使いますね。

高齢者の治療ももちろん大事ですが、若いアスリートを治療するのは刺激になります。それは医師だけでなく他のメディカルスタッフも同様だと思います。

今後、大規模病院とわれわれが渡り合っていくためには当院ならではの特色を打ち出していかなければなりません。地域に根ざした医療をしていきたいという思いは当然ありますが、それに加えて体外衝撃波治療を受ける患者さんの治療にも力を入れていきたいですね。

■2本の柱

この病院に来た当初から考えていたのは、いかにほかの病院と差別化し、当院ならではの強みを打ち出すかということです。試行錯誤の末に思いついたのがリウマチ治療でした。

当時からこの地域には一定数のリウマチ患者の方がいらっしやいました。10年前にリウマチを専門にしていた同級生医師に手伝いに来てもらったことで、リウマチ患者が一気に増えました。

その後、道後温泉病院(松山市)からも医師を派遣してもらい、今ではリウマチ治療は当院の治療の柱となっています。

10年前と比べて、当院のリウマチ患者数は3倍に増加しました。今では「この地域のリウマチ治療は栗整形外科だ」と言われるまでになりました。リウマチ治療と体外衝撃波治療、この2本の柱ができたことで当院な

らではの特色を打ち出せているのではないかと考えています。

■骨粗しょう症への対応

リウマチと密接に関連する骨粗しょう症です。今は生物学的製剤がありますが、昔はステロイドを使用していました。あくまでも症状をおさえる薬で、長期間使用すると効き目は減弱してきます。また、副作用として糖尿病や骨粗しょう症を発症します。リウマチの患者さんを診ていると、ステロイドの副作用による骨粗しょう症患者がいかに多いか分かります。

現在は、リウマチ治療と併せて骨粗しょう症治療にも力を入れています。当院には現在8人の骨粗しょう症マネージャーが在籍していますが、他にも取得希望者がいますので、当院としてもバックアップしていく予定です。

受験資格は、医療に関する国家資格を有するメディカルスタッフですが、地域で求められている医療を提供するには必要不可欠な存在だと考えています。

■転倒予防指導士の誕生

今年、3人の介護職員と1人の理学療法士が日本転倒予防学会が定める転倒予防指導士の資格を取得しました。併設する介護老人保健施設の入所者が大腿骨頸部骨折をしたことが取得のきっかけとなりました。

今後同様の事例が起きないとも限りませんが、当法人には介護老人保健施設、グループホーム、サービス付き高齢者向け

住宅、ショートステイなどを備えています。これほど多くの施設に高齢者が入所していれば、骨折が起こる確率は必然的に高くなってしまうと思います。

施設での骨折をゼロにするにはどういうアプローチをすればよいか。高齢者で骨折しやすい人は骨粗しょう症の人が多いので、骨粗しょう症対策チームをつくりました。しかし、骨粗しょう症の薬を服用していても骨折する人はいます。

昨年10月に転倒予防学会学術集に出席したときに転倒予防指導士の存在を知りました。転倒予防指導士は転倒予防の現状と転倒後の外傷、転倒のリスク評価、運動療法について学びます。さらに、転倒に関係する疾患や認知症者の転倒予防、病院、福祉施設および地域社会での転倒予防方法について学ぶのです。

高齢者の骨折は病院の中よりも施設での骨折が多く、その予防のために転倒予防指導士が果たす役割はとても大きなものだと思います。

介護職のみならず事務職からも転倒予防指導士の取得をめざしています。が、7月30日・31日に行われた、第3回転倒予防



体外衝撃波疼痛治療装置「ドルニエ」

■目標設定が重要

スタッフはみなさん縁あって来てくれているわけで、できるだけ長く勤めていただきたいと考えています。

そのためには業務がマンネリ化することは避けなければなりません。毎日同じ業務の繰り返しでは面白くないでしょう。スタッフのモチベーション維持に目標設定は必須です。その目標とは達成が不可能な大きなものではなく、実現可能な目標です。

日ごろはなかなか照れくさくて言えませんが、私は「スタッフは宝」だと思っています。今後もスタッフと力を合わせて栗整形外科病院並びに関連施設をより良い病院・介護施設にしていきたいですね。



医療法人社団 栗整形外科病院
愛媛県四国中央市中之庄町
398番1号
☎0896・24・5550 (代表)
http://kuri-seikei.com/

愛媛県立八幡浜高校卒業 1991 愛媛大学医学部医学科卒業 同整形外科教室入局 同大学病院 1992 新居浜十全総合病院 1995 済生会西条病院 1998 栗整形外科病院 2004 同院長 2012 同理事長

栗整形外科病院の益々のご発展を祈念いたします

新企画設計

http://shinkikaku.info
TEL(089)956-0200 FAX(089)957-6842
〒791-1112 松山市南高井町1990番地8

NEWWAVE 株式会社ニューウェイブ
〒792-0003 愛媛県新居浜市新田町1丁目6番25号
f Kartet エフ・カルテット phone 0897-35-2280
URL http://www.fkartet.com/
医療現場から生まれた産科に特化した電子カルテです

株式会社 LOHAS

愛媛県松山市一番町1丁目14-7-3F
TEL 089-907-5750

愛媛トヨタ

健康と快適の明日を考える
大切にしたいのは心です。

ワタキュー セイモア株式会社
四国支店
愛媛県西条市ひうち18-24
TEL: 0897-52-5231 FAX: 0897-52-5232



医療・福祉の「総合サービス業」として「安心」と「安全」をお届けしています。

◇病院・施設用寝具等リース・販売
◇メディカル・システム・サービス
◇院内業務請負
◇ネクスージ(手術用リネンリユースシステム)
〒761-8555 香川県高松市鶴岡町2025番地3
TEL(087)881-8001 FAX(087)882-0442
URL:http://www.to-kai.co.jp

医療機器・介護用品
販売・レンタル

株式会社 日協堂医療器

TEL 0875-57-5757(代)
香川県観音寺市柞田町甲43-1



医療法人千寿会

道後温泉病院 リウマチセンター

・リウマチ科 ・内科 ・整形外科
・リハビリテーション科 ・循環器内科

〒790-0858 愛媛県松山市道後姫塚21-21
TEL 089(933)5131 FAX 089(933)5137



◎ホームステイでアメリカから来た大学生と食事をする機会があった。両親共に医師で認知科学専攻と聞き、さぞや堅物かと思ったらオタク顔負けのアニメ好き。初カラオケで日本人学生と一緒に人気アニメ「エヴァンゲリオン」の主題歌を笑顔で大合唱。アニメ文化万歳の夜だった。(原田)

◎大切なものには失ってから気づく。万国共通の真理。「当たり前」の幸せにあぐらをかくのはやめて、たまには実家に帰ろう。(入江)

◎スキルス胃がんの患者。家族会「希望の会」理事。長の轟哲也さんが亡くなった。告知から3年弱スキルス胃がんの特化した冊子を作り、サロン「じゃべり場」を実現させ、酸素をつけ、車いすに乗ってまで講演で話し、さらに大きな夢を妻で副理事長の浩美さんら会のメンバーに残していった。すべては「未来の患者のために」。ご冥福をお祈りします。(小鉢)

◎徳島で開催中の西医体・サッカー競技で、3連覇を目指した徳島大学が3回戦で涙を飲んだ。「どこが勝つてもおかしくない」と語った山本主将の分析は正しかったようだ。本紙がダイクホースにあげた香川大学は準々決勝に駒を進めた。リオより暑い夏もいよいよクライマックス。(大山)

◎近所にフランス料理店「アリシヌ」がオープンした。場所は福岡市東区宮松3丁目。ご近所招待が2日間あり、ワイン飲み放題、料理は500円だったため、ちよつと顔を出すつもりがずいぶん長くなる羽目になった人(川本)